

1 生活科学研究所紀要 投稿規程

1) 本紀要への投稿原稿は、「論文」、「研究ノート」に区分される。

「論文」とは、生活科学及びその関連領域における理論・実証的・実践的研究に関するものとする。

「研究ノート」とは、「論文」には適さないが、それに準じるものとする。

いずれも編集委員会が適切と認めたものを掲載する。編集委員会は「論文」「研究ノート」の掲載に際して最低限必要な形式を確認し、場合によっては修正を求めることがある。

2) 投稿者は原則として本学専任の教員および研究所客員研究員・準研究員とし、ひとり一編（筆頭著者の場合）とする。共同執筆者のうち筆頭著者でない者は、もう一編まで掲載可能とする。本学以外の者の投稿及び、本学の大学院生の投稿に関しては、本学専任教員との共同執筆においてのみ認める。

3) 投稿論文は他誌に未発表のものに限る。

4) 採否および掲載順は編集委員会が判断する。

5) 原稿は論文執筆・投稿要領に従い作成し、論文は刷り上り10ページ以内、研究ノートは5ページ以内（図・表を含む）とする。なお、引用文献は規程ページ数に含まない。

6) 執筆者には別刷を30部贈呈する。それ以上を希望する者には有料で頒布する。

7) 投稿期日は、締切りを11月30日（休日の場合は前日）必着とする。

8) 本紀要に掲載する論文等の著作物の複製権および公衆送信権を含む著作権は、掲載の時点において文教大学付属生活科学研究所に帰属するものとする。

2 論文執筆・投稿要領

- 1) 投稿原稿は和文、あるいは英文とする。
- 2) 投稿する原稿の構成は、本文、表、図、引用文献の順とする。
- 3) 1ページ目には、和英両文の題目、執筆者名、ローマ字の執筆者名、執筆者の所属、要旨、キーワード（5語以内）を記す。要旨は日本語で400字程度、もしくは英語で200語程度とする。著者名は省略せず、日本語（姓、名の順）及びローマ字（名、姓の順）で併記する。著者の所属は、1ページ目下部に、著者名の「かな」表記と、大学名と学部名を明記する。大学以外の所属の場合は、会社・団体名と部署名を明記する。生活科学研究所の研究員等の場合は、その旨続けて記載する。どちらの所属の場合も正式名称を記載する。
- 4) 本文は、ワープロソフト（Microsoft Word）を用い、A4版で横書43字×40行、文字フォントは明朝体10.5ポイントで作成する。数値は半角を用いる。英文の場合は、1ページを860wordsと換算する。本文は、1ページのキーワードの次行、おおよそ30行目より記載すること。日本語表記では句点は「。」、読点は「、」を、英語表記では句点は半角ピリオド“.”、読点半角はカンマ“,”を用いる。ピリオド、カンマの後ろには半角スペースを入れること。
- 5) 本文中の見出しには、算用数字で通し番号を記載する。見出し文はゴシック体とし、中央そろえて記す。
- 6) 図表は1ページに1つの図表を示し、本文の原稿とは別に本文の後ろに一括する。番号は、図表それぞれ独立で、図1、表1、のように図表の上部に左そろえて記載する。写真や挿絵等も図の扱いとする。図表について本文で言及し、挿入希望位置を本文の右側に 図1、表1 のように指定する。
- 7) 図表については、A4半ページの場合は800字換算とし、4分の1ページの場合は500字換算とする。図表の作成にあたっては縮尺を考慮して文字の大きさ及び線の太さを決め、コントラストに留意すること。なお、図の作成にあたっては色を使用しないこと。
- 8) 注（註）と引用文献は分離して掲載する。注（註）は、本文の該当箇所に¹⁾のように、上付きの数字（半角）と片カッコ（半角）を示す。脚注文は原則当該ページ内下部の脚注に記載する。
- 9) 引用文献は、本文中の該当箇所に著者名（姓、ファミリーネーム）の直後に刊行年を添え、（著者名，年），著者名（西暦発行年）のかたちで記載する。著者が連名の場合2名まではそのまま記載する。著者が2名の共著の場合は、引用のたびごとに両著者名を記載する。日本語文献の場合は著者名の間を「・」で、英語文献の場合は“&”で結ぶ。3名以上の場合は、筆頭著者名「他」、「et al.」と記載する。著者自身の既刊文献の引用であっても、「著者は…」などとせず、「吉澤（2020）は…」のように記載する。複数著者の文献を「他」、「et al.」表記にすることで同じ省略表記のものが複数できてしまう場合は、文献間の区別がつくまで著者名を記載する。

本文末尾には、著者名、年（西暦）、表題名、雑誌名、巻、号（単行本の場合は出版社、その所在地）、および掲載ページを記し、アルファベット順に記載する。DOIが付与されている場合は記載する。オンライン上

でのみ閲覧できる資料でDOIが無い場合にはウェブサイト名、アクセス年月日、URLを記載する（著者名（公開年）. 表題 ウェブサイト名 Retrieved アクセス年月日 from URL）。表記が2行以上にわたる場合は、2行目以降を全角2文字（半角4文字）分字下げすること。

<記載例>

本文 2名まで 「吉澤（1998）によれば...」、「...である（吉澤・角田，1998）」
3名以上 「吉澤他（2020）により...」、「...である（吉澤他，2020）」
3名以上で省略表記が同様のものが複数できてしまう場合
「吉澤・田中他（2020）によると...、その一方で...でとされる（吉澤・佐藤他，2020）」

末尾の引用文献例

文教 太郎 (2017). 表題名 雑誌名, 30(2), 82-105. <https://doi.org/~>
文教 太郎 (2022). 書籍名 出版社名 <https://doi.org/~>
Bunkyo, T. (2021). Title. *Journal Name*, 35(3), 343-351. <https://doi.org/~>
Bunkyo, T. & Bunko, K. (2016). Chapter Title. In K. Bunko (Ed.), *Book Title* (pp. 48-57). Maeda Publishing.
生活科学研究所 (2026). 生活科学研究所紀要 投稿規程 文教大学生生活科学研究所 Retrieved January 27, 2026, from <https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/seikatsu/wp-content/uploads/2025/12/89828218c2c440f8e15ba897ecc9e3b8.pdf>

10) 英文タイトルの表記は、すべての単語の1文字目を大文字にする。ただし、接続詞（例 and, or, but）、前置詞（例 on, of, by, from, with, without, under）、冠詞（the, a, an）等は文頭でなければ上記の例外とする。

<記載例>

Exploring Positive Youth Development Among Young People Who Leave School without Graduating High School: A Focus on Social and Emotional Competencies.

11) 日本語を母語とする執筆者が和文以外で論文を投稿する場合は、本文、及び図表を含めてすべての原稿について使用言語の専門家による校閲を行ったうえで提出すること。また、その校閲完了の証明書を論文と共に提出すること。

12) 原稿は論文投稿システムを用いて、オンラインでデータ（MS Word 形式）を提出すること。なお修正稿については同システムへの入稿とメール添付での提出を併用して行う場合がある。

13) 執筆者校正は原則2校までとする（印刷所からの直送となる）。校正の期日を厳守すること。遅れが著しい場合は掲載を取り消すことがある。

2026年1月28日改定

論文タイトル（和文）
英文タイトル
著者名（和文） 著者名（英字）
要旨：400 字程度 キーワード： 本文中に記された語（5 語以内）
本文（43 字×10 行程度）

* 執筆者名の「かな」所属